

滋賀銀行創立90周年記念ガラ・コンサート

いっしょに未来へ

《第1部》

- ジョン・ウィリアムズ：映画「ジュラシック・パーク」のテーマ
John Williams : Theme from "Jurassic Park"
- ロドリーゴ：アランフェス協奏曲
Joaquín Rodrigo : Concierto de Aranjues 【ギター・ソロ：村治佳織】

《第2部》

- チャイコフスキー：イタリア奇想曲
Pyotr Ilych Tchaikovsky : Capriccio Italien Op.45
- ヨハン・シュトラウスII：美しく青きドナウ
Johann Strauß II : An die schönen, blauen Donau 【共演 大津児童合唱団】
- ラヴェル：ボレロ
Maurice Ravel : Boléro 【共演 大津ジュニアオーケストラ】
- エルガー：行進曲「威風堂々」第1番
Edward Elgar : March "Pomp and circumstance" Op.39 No.1
【共演 大津児童合唱団&大津ジュニアオーケストラ】

祝祭を彩る名曲の数々を
プロのオーケストラと未来を担う
音楽家達が夢の共演!!

篠崎靖男(指揮)
村治佳織(ギター)

大阪交響楽団に滋賀ゆかりの演奏家達が加わり特別編成
しがぎん90周年記念スペシャル・オーケストラ
賛助出演：大津児童合唱団、大津ジュニアオーケストラ
総司会：宅間司、中川悠紀(しがぎん経済文化センター)



大津児童合唱団



大津ジュニアオーケストラ



篠崎靖男(指揮)



村治佳織(ギター)



大阪交響楽団

2023年 **10月29日(日)** 開演：午後2時(開場：午後1時/午後4時終演予定)
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホール 大津市打出浜15-1

入場料(全席指定・税込) / 創立90周年記念特別価格 一般2,000円 青少年24歳以下1,000円

■びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136(10:00~19:00 火曜日休館・休日の場合は翌日・8/13~18は休館)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (PC&携帯) (Pコード:247-356)

※セブン・イレブン店内マルチコピー機で直接購入いただけます。

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> (PC&携帯) (Lコード:52520)

※ローソン店内端末で直接購入いただけます。

■e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (PC&携帯)

※ファミリーマート店内で直接購入いただけます。

※6歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。※やむをえない事情により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。※公演終了後のみJR大津駅まで有料臨時バスが運行いたします。

10年後の滋賀の芸術文化にあなたの願いを込めて!! (公演パンフレットに内容のみ一部掲載)

「いっしょに未来へ10年後の夢」をハガキに書いてお席を優先確保!! (入場料は同一価格)

●公演名・郵便番号と住所・お名前(フリガナ)・電話番号・希望枚数(お1人様2枚まで・一般か青少年の区別もご記入ください)

●「いっしょに未来へ10年後の夢」10年後の滋賀の文化や芸術についての、あなたの願いや夢をお書きください。

●申込み先 〒520-0041 大津市浜町1-38 しがぎん経済文化センター「滋賀銀行創立90周年記念ガラ・コンサート」係

●受付期間 2023年7月10日(月)~7月31日(月) 当日消印有効

【限定200席】 定員に達し次第終了といたします。チケットは有料(入場料と同額)となります。なお座席のご指定・ご希望はうかがえませんので予めご了承ください。※ハガキに記載の個人情報は、本公演事業に関する連絡にのみ利用させていただきます。

《発売日》
7月23日(日) 午前10時
びわ湖ホール友の会優先発売
7月21日(金) 午前10時
※電話・ネット受付のみ

《第53回滋賀県芸術文化祭参加事業》

【主催】 滋賀銀行
【共催】 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
【協力】 株式会社しがぎん経済文化センター
【後援】 滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、
びわ湖放送、radio



合唱経験者はもちろん、声に自信のある方、大ホールで歌ってみたい方大歓迎!!

「威風堂々」合唱隊90募集【参加費無料】 定員に達し次第終了

記念コンサートのクライマックスを飾る90周年記念コーラス隊を90名募集します。

リハーサル日程 会場：びわ湖ホール(予定) ※日程・会場は変更となる場合がございます。

●10月27日(金) 19:00~21:00 ●28日(土) 14:00~17:00 ●29日(日) 11:00~

●公演中はコンサートをご鑑賞いただき、客席より一緒に歌っていただきます。

詳細は、90周年記念ガラ・コンサート特設ページ(下記参照)をご覧ください。



《お問い合わせ》しがぎん経済文化センター TEL.077-526-0011 (平日9:30~17:00)

<https://www.keibun.co.jp/90th-concert>

しがぎん ガラ・コンサート 検索

記念すべきコンサートの指揮をとるのは、アントニオ・ペドロッチ最高位、シベリウス第2位の両国際コンクール入賞者、滋賀ゆかりの篠崎靖男。演奏は、この日のために特別編成された「しがぎん90周年記念スペシャル・オーケストラ」。今最も勢いのある大阪交響楽団に、滋賀ゆかりの演奏家たちが加わります。祝祭の幕開けは、映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズの代表作「ジュラシック・パーク」。続いてデビュー30周年のギタリスト村治佳織をソリストに迎え「アランフェス協奏曲」。スペインの古都アランフェスの平和への祈りを込めたロドリゴの名作で、名旋律とギターの超絶技巧が聴く者の心を揺さぶります。後半は「イタリア奇想曲」で華やかに始めると、今年創立70周年を迎えた大津児童合唱団と「美しく青きドナウ」、続いて40年近くの活動実績を誇る大津ジュニアオーケストラと「ボレロ」を共演。クライマックスは、プロの演奏家と未来を担う音楽家達が、10年後への希望を含め「威風堂々」を大合奏(唱)!!

Profile

篠崎靖男 Yasuo Shinozaki 指揮者(Conductor)



桐朋学園大学にて、指揮を山本七雄、飯守泰次郎の各氏に師事。1993年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール最高位。その後ウィーン国立音楽大学で研鑽を積み、2000年シベリウス国際指揮者コンクール第2位。2001年より2004年までロサンゼルス・フィルの副指揮者を務めた後ロンドンに本拠を移し、ロンドン・フィル、BBCフィル、ボーンマス響、フランクフルト放送響、フィンランド放送響、スウェーデン放送響、南アフリカ共和国のKZNフィル(ダーバン市)、ヨハネスブルグ・フィル、ケープタウン・フィルなど各国の主要

オーケストラを指揮。2007年から2014年7月に勇退するまで7年半、フィンランド・キュミ・シンフォニエッタの芸術監督・首席指揮者としてオーケストラの目覚ましい発展を支えた。国内でも主要オーケストラに登場、静岡交響楽団では、2014年9月からミュージック・アドバイザー、2015年9月から2018年3月まで常任指揮者を務め、「新しい静響」の発展に貢献した。現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師(指揮専攻)として後進の指導にも当たっている。滋賀では、2000年に日野町市民会館わたむきホール虹にて立ち上げた室内管弦楽団オーケストラ・ムジカ・チェステを第1回から指揮。11年から16年までびわ湖ホールで篠崎靖男プロデュース・オーケストラ・シリーズを開催し好評を博した。昨年6月、滋賀ゆかりのメンバーを中心に特別編成された、しがぎんスペシャルオーケストラで熱演。02年(平成12年度)滋賀県文化奨励賞受賞。オフィシャル・ホームページ <http://www.yasuoshinozaki.com/>

村治佳織 Kaori Muraji ギター(Guitar)



幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、15歳でCDデビューを飾る。1996年には、イタリア国立放送交響楽団との共演がヨーロッパ全土に放送され、好評を得た。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。ビクターエンタテインメントからのCDリリースは「カヴァティーナ」など9タイトル及びDVD「コントラステス」をリリース。その後N響ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国の名門クラシックレーベルDECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。移籍第1弾アルバム「トランスフォーメーション」は第19回日本ゴールドディスク大賞クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー<洋楽>を受賞。これまでにDECCAからはCD14枚、DVD2枚をリリース。また受賞歴も多く、第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテル

オーケストラ音楽賞を受賞。2012年4月より半年間NHK-Eテレ「テレビでフランス語」や、J-WAVE(FM)のナビゲーターを務めた。2014年10月には吉永小百合主演映画「ふしぎな岬の物語」でメインテーマ曲を演奏。15年4月NHK-BSプレミアム「祈りと絆の島にて村治佳織 長崎・五島の教会を行く」に出演。17年4月よりJ-WAVE「RINREI CLASSY LIVING」のナビゲーターを4年間担当した。11月ベストドレッサー賞(学術・文化部門)を受賞。18年9月にリリースしたアルバム「シネマ」は、第33回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。19年1月アランフェス協奏曲を連続4公演成功させる。6月には横浜開港記念式典での記念コンサートに出演し好評を博す。また、ブルガリアウローラアワード2019を受賞。12月には、サントリーホール・大ホールにてソロリサイタルを行い、満席の中成功をおさめた。21年5月公開、吉永小百合主演映画「いのちの停車場」のエンディングテーマを作曲・演奏。12月1日、ベスト盤「Music Gift to」をリリース。22年3月、テレビ朝日「徹子の部屋」に4回目の出演。同3月第41回「東芝ザ・グランドコンサート2022」に3回目の出演。オフィシャル・ホームページ <http://www.officemuraji.com>



大阪交響楽団 Osaka Symphony Orchestra

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、10年4月「大阪交響楽団」に改称した。1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。その後、曾我大介、大山平一郎、児玉宏、外山雄三の歴代シェフのもと、楽団は大きく発展を遂げてきた。また、22年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真都(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。10年1月、第64回文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞。22年3月大阪文化祭賞を堺シテリオペラと合同で受賞(il Teatro L'alba L'amore“オペラ×オーケストラ”公演に対し)。同賞の受賞は、91、93、99、00、03年に続き6回目となる。楽団公式ホームページ <https://sym.jp>



大津児童合唱団 Otsu Children's Choir

大津児童合唱団は1953年(昭和28年)にNHK大津放送児童合唱団として発足。その後NHK機構改革により「大津児童合唱団」と改名し現在に至る。主な演奏活動としては、毎年3月に開催している定期演奏会をはじめ、滋賀県少年少女合唱連盟の「合唱祭」、大津市合唱連盟の「合唱のつどい」や他団体との交歓演奏会等がある。また、びわ湖ホール主催のオペラにも多数出演し、演奏機会を得ている。レパートリーとしては、少年少女のための合唱曲、童謡、民謡、クラシックの名曲、ポピュラー曲、ミュージカルの演奏のほか、滋賀県や琵琶湖を題材にしたオリジナル曲などがあり、親しみを持って演奏している。美しいものを美しくと感じ、人と人の輪を保つ中で、素晴らしいハーモニーを求めて日頃の練習に励んでいる。この春、創立70周年を迎え、第50回記念定期演奏会がびわ湖ホール大ホールで開催され、大きな感動をよんだ。1980年(昭和55年度)滋賀県文化奨励賞受賞。



大津ジュニアオーケストラ Otsu Junior Orchestra

「大津にジュニアオーケストラを!」という長年の夢がかない、1985年、大津管弦楽団の附属団体として誕生する。大津管弦楽団の常任指揮者であった、杉中博を中心に団員の有志の指導で、年二度の定期演奏会で演奏。関西のジュニアオーケストラの先駆けだった大津ジュニアに、大阪や京都からもたくさんの団員が集まり、みるみるうちに大所帯となった。2002年に「大津ジュニアオーケストラ」として独立。年一回の定期演奏会(サマーストリングフェスタ)を開催するほか、様々な演奏活動を行ってきた。世界的ヴァイオリニストの玉井菜採さん他、多くのソリストとの共演。05年にはNPO法人「ミュージック・シェアリング」のオーケストラ訪問に選ばれ、ヴァイオリニスト五嶋みどりさんとの交流。08年にはチェコ共和国にてコンサート。同年、カリフォルニア・ユース・シンフォニーを大津に迎えてジョイントコンサートを開催。14年、16年にはドイツでコンサートを開くなど活動の場を世界へ広げている。06年(平成18年度)滋賀県文化奨励賞受賞。